

学校法人 国際総合学園 新潟工科専門学校

# 令和5年度学校情報

## 1. 学校の概要

### (1) 校訓

創造・挑戦・実行

### (2) 要綱

本校の「建学の精神」「教育方針」を日常生活の中で実現するための指導が学生生活に関する諸項目です。学生はこれを遵守することによって、規律ある学生生活を送り、集団生活の体験を通じて本校校訓である「創造」「挑戦」「実行」の精神を体得してゆくことが必要です。学生は、本項目をよく読み、これを理解し、かつ実効する。

### (3) 教育目標

#### 建学の精神

「将来の職業に関する高い専門能力を追求しながらも単に知識・技術教育に偏ることなく、広い視野と豊かな人間性を持った、創造力に満ちた人材育成の場であることを教育の基本理念とし、常に新しく変化していく時代に即した工科専門学校として、新潟県の教育・産業の振興に寄与するものである。

#### 教育方針

##### 「スペシャリストの育成」

本校は現代社会の要請、特に地元産業の求める人材の育成を目的とする。そのため、実社会で要望され、卒業後すぐに役立つ資格、技能、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

##### 「豊かな人間性の育成」

資格、技能、知識を持つと同時に、社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意志をもった技術者を育成する。

### (4) 学校名称

学校法人 国際総合学園 新潟工科専門学校

### (5) 設置者

学校法人 国際総合学園

理事長 池田 祥護

学校長 仁多見 透

### (6) 学校所在地

〒950-0932 新潟市中央区長潟 2 - 1 - 4

T E L 025-287-3911

F A X 025-287-7626

(7) 学校の沿革

・平成5年7月12日	宗教法人愛宕神社(代表役員 池田 弘)が新潟県知事あて、専修学校新潟工科専門学校 の設置について認可申請書提出
・平成5年12月6日	新潟県知事より宗教法人愛宕神社あて、専修学校新潟工科専門学校の 設置認可書を交付
・平成6年2月14日	宗教法人愛宕神社(代表役員 池田 弘)が新潟県知事あて、専修学校 新潟工科専門学校 の設置者の変更(学校法人国際総合学園 代表役員 池田 弘)書を提出
・平成6年2月21日	新潟県知事より宗教法人愛宕神社及び学校法人国際総合学園あて、専 修学校新潟工科 専門学校の設置者変更の認可書を交付
・平成6年4月1日	開校(新潟市米山3丁目1番53号) 初代学校長に渡辺 敏彦が就任
・平成7年4月1日	校舎新築移転(新潟市長潟2丁目1番4号) 電気電子工学科(2年制)を新設
・平成8年4月1日	建築土木工学科を建築設備工学科に名称変更 土木開発工学科(2年制)と環境科学工学科(2年制)を新設
・平成9年4月1日	建築設備工学科を建築工学科に名称変更 車体整備工学科(2年制)、設備設計工学科(2年制)、機械設計工学科 (2年制)、 環境造園工学科(2年制)、バイオ生産工学科(2年制)、総合建築工学科 (3年制)、 総合土木工学科(3年制)、臨床工学技士科(3年制)を新設
・平成10年4月1日	情報CAD工学科(2年制)、インテリア工学科(2年制)、測量設計工学科 (2年制)、 ネットワーク工学科(2年制)、自動車マーケティング科(2年制)を新設
・平成11年4月1日	情報CAD工学科を建築CAD設計科、設備設計工学科を建築設備設計 科、土木開発工学科 を土木工学科に名称変更

	建築設計科(2年制)、測量工学科(2年制)、測量土木設計科(3年制)を新設
・平成11年9月24日	学校法人国際総合学園の理事長に渡辺俊彦が就任
・平成12年4月1日	インテリア工学科をインテリアプランニング科、車体整備工学科を車体工学科、 自動車マーケティング科をモータースポーツ科に名称変更
・平成13年4月1日	機械設計工学科を機械システム設計科、環境造園工学科を環境造園設計科に名称変更 バイオ生産工学科(2年制)を廃止
・平成14年4月1日	医療専門課程を「新潟医療テクノロジー専門学校」へ移行 臨床工学技士科(3年制)を廃止
・平成15年4月1日	福祉住環境デザイン科(2年制)、建築研究科(1年制)、ゲームテクノロジー科(2年制)、 1級自動車整備士科(2年制)を新設 総合土木工学科(3年制)を廃止
・平成16年4月1日	自動車系学科を「国際自動車工科専門学校」へ移行 福祉工学科(2年制)、バイオテクノロジー科(3年制)、フードテクノロジー科(2年制)を新設 自動車工学科(2年制)、車体工学科(2年制)、モータースポーツ科(2年制)、 1級自動車整備士科(2年制)を廃止
・平成17年4月1日	2代学校長に笹本正司が就任 機械システム設計科をものづくり工学科、インテリアプランニング科、建築をインテリアデザイン科、 建築研究科を建築工学研究科、フードテクノロジー科を食品工学科に名称変更 バイオテクノロジー科(2年制)、醸造工学科(2年制)、化粧品工学科(2年制)を新設 総合建築工学科(3年制)、ゲームテクノロジー科(2年制)、旧バイオテクノロジー科(2年制)、 を廃止
・平成18年4月1日	測量工学科を都市環境建設科に名称変更

	<p>生活工芸デザイン科(2年制)、食品分析化学科(3年制)、食品バイオ工学科(3年制)、 醸造学科(3年制)を新設 建築設備設計科(2年制)、環境造園設計科(2年制)、建築設計科(2年制)、 福祉住環境デザイン科(2年制)、福祉工学科(2年制)を廃止</p>
・平成19年4月1日	<p>食品分析化学科(3年制)を食品工学科(3年制)に名称変更 設備設計科(2年制)を新設 土木工学科(2年制)、測量土木設計科(3年制)、バイオテクノロジー科(3年制)、 食品工学科(2年制)、醸造工学科(2年制)、化粧品工学科(2年制)を廃止</p>
・平成20年4月1日	<p>学校法人国際総合学園の理事長に池田弘が就任 3代学校長に和田信彦が就任 建築工学研究科を2級建築士受験科に名称変更 食品工学科(2年制)、醸造工学科(2年制)を新設</p>
・平成21年4月1日	<p>建築士専攻Ⅰ科(1年制)、園芸デザイン科(2年制)を新設 2級建築士受験科(1年制)、生活工芸デザイン科(2年制)、食品バイオ工学科(3年制)を廃止</p>
・平成22年4月1日	<p>4代学校長に永野英樹が就任 環境科学工学科(2年制)、インテリアデザイン科(2年制)、建築CAD設計科(2年制)、 食品工学科(3年制)、醸造学科(3年制)、設備設計科(2年制)、食品工学科(2年制)、 醸造工学科(2年制)を廃止</p>
・平成23年4月1日	<p>農業系は「新潟農業・バイオ専門学校」へ移行 都市環境建設科を環境測量科に名称変更 建築士専攻Ⅱ科(2年制)、建築デザイン科(2年制)、建築大工・設備科(2年制)、 インテリアデザイン科(2年制)、クリエイティブ発明科(2年制)を新設</p>
・平成24年4月1日	<p>5代学校長に齋藤麻一が就任 建築大工・設備科を建築大工科に名称変更 エコサイエンス科(2年制)を新設 建築学科(2年制)、バイオテクノロジー科(2年制)、園芸デザイン科(2年制)を廃止</p>

・平成25年4月1日	クリエイティブ発明科を商品開発工学科、エコサイエンス科を環境エネルギー工学科に名称変更 建築士学科(2年制)を新設
・平成26年4月1日	ものづくり工学科をものづくり創造工学科、建築士専攻Ⅰ科を建築士専攻科、環境エネルギー工学科を電気・エネルギー工学科に名称変更 建築設備科(2年制)を新設
・平成27年4月1日	6代学校長に仁多見透が就任 建築士専攻Ⅱ科(2年制)、商品開発工学科(2年制)を廃止
・平成28年4月1日	ものづくり創造工学科をものづくり工学科に名称変更
・平成29年4月1日	建築設備科を建築設備システム科に名称変更
・平成30年4月1日	電気・エネルギー工学科を廃止 ものづくり工学科をものづくりデザイン科に名称変更
・令和2年4月1日	ものづくりデザイン科(2年制)を廃止 一級建築士専攻科(2年制)を新設
・令和3年4月1日	環境測量科を測量建設科に名称変更
・令和4年4月1日	小柳建設株式会社と教育提携 建築設備システム科を廃止
・令和5年4月1日	愛知産業大学との大学併修科(3年次編入)を開設 建築デザイン科を建築設計デザイン科に名称変更 電気電子工学科を電気・通信エンジニア科に名称変更

## 2. 各学科の教育

### (1) 建築士学科 2年制 定員：80名 (男女)

2級建築士の最短合格を目指し、本科(2年制)卒業後、更に建築士専攻科(1年制)に進学します。本科では、建築に関する基礎知識を学びながら、製図やCAD設計、建築物のデザインなどの実習を通して、基本技術をしっかり習得します。建築士専攻科へ進学後は、2級建築士試験の対策授業(学科試験、設計製図試験)を中心に高度な知識と技術を習得し、福祉住環境コーディネーターやインテリアコーディネーターなどライセンス取得も目指しながら、建築業界で活躍できる実践力を身に付けます。

### (2) 建築設計デザイン科 2年制 定員：25名 (男女)

お客様の要望をもとに、住宅や店舗、商業施設や公共施設など、快適で夢のあ

る建築物をプロデュースできる建築設計のプロを目指します。建築に関する知識やデザイン力、設計スキルを習得し、さらには企画力やプレゼンテーションスキルも身に付けることで、建築業界の即戦力を育成します。また、1年次より設計コンペに参加し、日頃の学習の成果や自分の実力を確認しながら入賞を目指します。

**(3) インテリアデザイン科 2年制 定員：20名 (男女)**

建築とインテリアを両方学び、快適な室内空間を創り出す「デザインのプロ」と建築物の構造を把握した上で施工スキルを磨く「内装施工のプロ」を育成する学科です。また、手書きのパースやCGを使った画像など幅広いプレゼンテーションの技法や、お客様の要望に応える室内設計の技術、現場に即した内装技術の実習など、実習中心のカリキュラムでインテリアデザイナー・アドバイザー・施工技術者として実社会で活躍できる実践力を身に付けます。

**(4) 建築大工科 2年制 定員：20名 (男女)**

伝統的な匠の大工技術を習得できるのはもちろん、幅広い建築物に関する専門知識も2年間で習得し、2級建築士(国家資格)を卒業後すぐに受験できます。今の時代の大工職人は、技術を持っていることはもちろん、建築士という資格も持ち合わせていると、大工職人として仕事の幅が広がります。実習では、ノミやカンナなどの刃物を研ぐところから始まり、伝統的な技術や、最新の技術を身に付け、学生全員で1つの大きな構造物を作る実習などを通して、職人同士の連携を学んでいきます。又木造建築物の建て方を率先して見学するなど現場を見て学ぶ授業も実践しており、即戦力となれるようスキルアップし、多くの学生が大工業界に就職しています。

**(5) 測量建設科 2年制 定員：20名 (男女)**

都市計画や公共事業などのスケールの大きな仕事で活躍出来る測量のスペシャリストを育成します。測量・土木の基礎を学び、学校近くの広大な鳥屋野潟公園での多様な実習を中心に、専門的な技術を習得しています。さらには、環境保全に配慮できる専門知識も習得することで、未来の生活環境や国土を支えられる人材を目指します。

**(6) 電気・通信エンジニア科 2年制 定員：25名 (男女)**

電車や工場等の大規模な受電設備から一般住宅の配線まで、トータルに対応できるエンジニアを育成します。さらに、デジタル放送や光通信の技術も実践的に習得し、暮らしを支える電気通信のスペシャリストを目指します。卒業時に、第2種電気工事士が国家試験免除で取得できますが、在学中にさらに上位の第1種電気工事士試験にも挑戦し、業界就職に結びつけます。

**(7) 建築士専攻科 1年制 定員：60名 (男女)**

2級建築士受験資格を持っていることが入学条件となり、在学中に「2級建築士」取得を目指す1年課程である。前期においては学科試験及び設計製図試験に向けた内容のとなっており、後期は実務的な専門知識と技術の習得を目指す。

**(8) 一級建築士専攻科 2年制 定員：20名 (男女)**

改正建築士法により実務経験の前に一級建築士を受験することが可能となった。本学科では、2年間の在学中に一級建築士の合格を目指し全国的に一級建築士が減少傾向にある課題を解消することを目的としている。

1年目においては二級建築士の合格を目指し、2年目において一級建築士合格を目指す。その後は企業実習等で実務を学び即戦力としての技術者を目指す。

**(9) 建築士専攻・大学併修科 2年制 定員：15名 (男女)**

建築系学科を卒業後、本学科で二級建築士の合格を目指すとともに、愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科の3年次に編入し、「芸術」の学士取得も目指す。

**(10) 一級建築士専攻・大学併修科 3年制 定員：5名 (男女)**

建築系学科を卒業後、本学科で二級建築士、および一級建築士の合格を目指すとともに、愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科の3年次に編入し、「芸術」の学士取得も目指す。

**(11) 資格取得、検定試験合格等の実績**

資格・検定	令和3年度実績	令和4年度実績
●2級建築士	28名合格	36名合格
●インテリアコーディネーター	4名合格	6名合格
●2級建築施工管理技術検定学科試験	35名合格	60名合格
●2級土木施工管理技術検定学科試験	15名合格	13名合格
●2級電気工事施工管理技術検定学科試験	4名合格	17名合格
●第二種電気工事士	未受験	未受験
●第一種電気工事士	16名合格	20名合格

コンペ・大会	令和3年度実績	令和4年度実績
●新潟建築賞設計コンペ (新潟県建築士会主催)	2名入賞	3名入賞
●インテリアデザインコンペ (日本インテリアファブリックス協会主催)	14名入賞	18名入賞
●住まいのインテリアコーディネーションコンテスト (インテリア産業協会主催)	未参加	1名入選



### 3. 教職員

#### (1) 常勤教職員

・常勤教員数 20名

1級建築士(3名) 2級建築士(6名) 1級建築施工管理技士(1名)

2級建築施工管理技士(1名) インテリアコーディネーター(3名)

2級建築大工技能士(3名) 福祉住環境コーディネーター2級(1名)

測量士(2名) 1級土木施工管理技士(1名)

第1種電気工事士(3名) 第3種電気主任技術者(2名) 他

※資格を複数所有している教員あり。

・常勤職員 4名

#### (2) 非常勤教員 43名

1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、カラーコーディネーター、キッチンスペシャリスト、福祉住環境コーディネーター1級、測量士、第1種電気工事士、エネルギー管理士、建築設備士、宅建士など

### 4. 様々な職業支援・教育活動・教育環境

#### (1) 就職支援体制

##### クラス担任制

各業界出身の専門講師による一人一人に合わせた個別指導を実施。又授業では、独自の就職カリキュラムを採用し、就職活動に必要な知識・スキルも合わせて身につける。

##### キャリア・カウンセラー

NITには各業界を熟知したキャリア・カウンセラーが常駐。学生の進路選択を手助けするうえで、個人の興味、能力、価値観、その他特性をもとに、学生個々に適した職業選択をサポートしている。

##### 就職相談室

校内に厚生労働大臣届出「無料職業紹介所」を設置。WEBシステムを常時完備し、最新の求人情報はもちろん、会社訪問、面接対策など、専任職員による徹底サポート体制が確立されている。進路が決定するまで個別にフォローを行っている。

##### 業界・OB・OGネットワーク

本校では関係する様々な業界とのネットワークにより、求人情報や業

界動向をいち早く取得し、学生へフィードバックしている。又、各業界で活躍している5,000名以上の卒業生を通し、多くの求人情報が寄せられている。

#### 就職セミナー

就職相談室主催の就職セミナーを実施。就職活動のアドバイスや卒業生の体験談など、就職活動に向けての心構えを指導している。

### (2) 学校行事への取組状況（令和4年度）

#### 国内研修

県内、隣県を中心に各学科の教育特長に沿った視察先や体験を選定し、専門分野への知見向上、学修意欲向上、発想力の向上を目的として実施している。

#### 海外研修

コロナ禍の影響により未実施

#### クラス行事

学生間の信頼関係向上やリフレッシュのため、スポーツ大会や、テーブルマナー講習会などを実施している。

#### 学園祭

学校単位での学園祭を実施。コロナ禍を考慮し、飲食などの模擬店を行わず、体験できるような内容の模擬店を開催。また、各分野の企業ブースを設け、職業体験もできる形式で行った。

#### 大運動会

グループ校29校合同でビッグスワンにて実施。

### (3) 課外活動への取組状況（令和4年度）

インテリアデザイン科・・・白山神社から依頼を頂き、風鈴祭りの架台デザインを複数提案、うち一案が採用された。

建築大工科・・・上記の架台を製作し、地域貢献に取り組んだ。  
(令和5年6月に完成)